

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

35号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL: 06-6909-6755 FAX: 06-6909-6702
URL: http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN RX 工法

熱血営業マン！
ダイニチくんの奮戦記

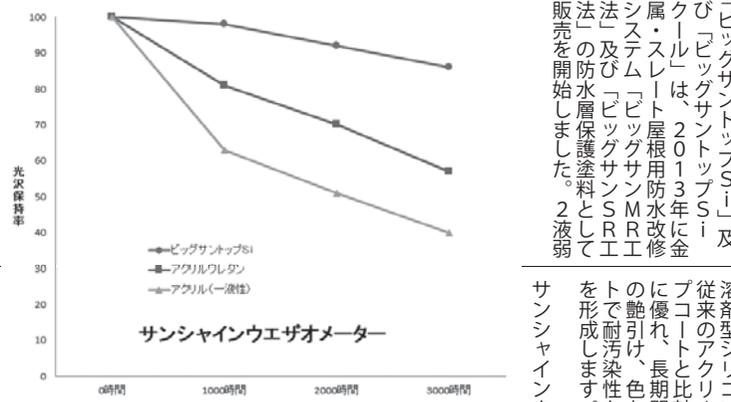
突然ですが！
太陽光発電の
売電価格の下落や
パネルの高温化など
気になっちゃいませんか？
ふうん

鏡のような
太陽光パネルで
高温の問題や
発電効率も
緩和可能！
おお！
大日化成の
緑化システムで

しかも
日立コンシューマーマーケティング社との
タイアップ事業です！
日立
コンシューマーマーケティング

お気軽には
電話は
06-6909-6755 または 03-3436-3801

2液弱溶剤型シリコン樹脂塗料 「ビッグサントップSi」シリーズ



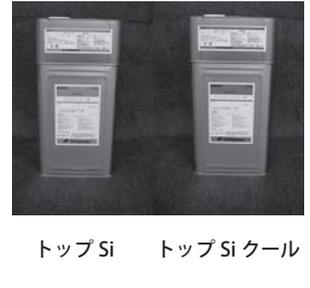
「ビッグサントップSi」及び「ビッグサントップSiクール」は、2013年に金属・スレート屋根用防水改修システム「ビッグサンMR工法」及び「ビッグサンSR工法」の防水層保護塗料として販売を開始しました。2液弱溶剤型シリコン樹脂塗料のため、従来のアクリルウレタン系のトップコートと比較して、更に耐候性に優れ、長期間に渡り、仕上がりに艶引き、色あせが少ないうltraトで耐汚染性も良好な美しい塗膜を形成します。

サンシャインウエザオメーターの促進耐候性試験の結果、従来のアクリルウレタン系トップコートが約3000時間の照射で、光沢保持率が半減してしまっているのに対し、ビッグサントップSiの場合、同じ照射時間で88%以上の光沢保持率が確認できました。

建物の塗替え改修の際、更なる高寿命化を図るにあたり、使用材料も「できるだけ長持ちするものを使いたい」という要求も増えています。ビッグサントップSiは、こういったお客様のニーズにお応えできる製品であると自負しております。

また、「ビッグサントップSiクール」は、「ビッグサントップSi」同様、シリコン樹脂を使用した高耐候性塗料としての性能の他、高日射反射率塗料としての性能にも優れており、従来の水性アクリルウレタン系の高日射反射率塗料ではラインナップできなかったグリーン色、ブルー色の2色が標準色に入っております。

特に工場・倉庫等の金属折板屋根にはブルー系の色が塗られていた事が多く、屋根改修の際にも同系色での塗替えを希望される御施主様が多数ですが、従来の「ビッグサントップUR」では、ブルー系の色については、使用している有機顔料の性質上の問題があり対応できませんでした。



今年の夏も昨年に引き続き猛暑が予想されます。加えて震災以降の電力需給問題の影響で今年も全国的に節電対策が求められており、高日射反射率塗料の需要はますます増えてくる事が予想されます。

しかし、「ビッグサントップSiクール」ならブルー系の仕上げで尚且つ高日射反射率塗料の性能も得る事が可能になりました。

従来の「ビッグサントップUR」に加え、「ビッグサントップSiクール」も御検討頂きます様よろしくお願ひ申し上げます。



ここ数年、異常な速度で広がった太陽光発電ですが、その一番の理由は売電を目的にした利益追求目的が大きかったと考えられます。勿論、グリーンエネルギーの創生手段の一つとして「地球環境に優しい太陽光発電」という崇高な理由もそこにはありました。

また、国や自治体も各種の助成金や工場立地法の変更等をして環境設備の一環として緑地と同様に見直す「カウンター」というような積極的な支援を行うことにより有形無形の応援をしたことで、業務用はもとより家電製品の中でもコストの優れた時代の最先端の盟主として急速に広まりました。

当初国内の各家電メーカーが争ってシェアを奪い合い、そのうちに出産中国製の発電パネルが市場に割り込むかたちで激しい市場になってきたが、その太陽光発電の拡大がここまじまで減速しつつあります。その大きな理由は、売電の単価が極端に開始当初より下落の一途をたどっている為です。

それに加えて各電力会社も高価な買電を強制されることを嫌い、現在以上の太陽光発電の広がりを抑え込むような動きも出てきつつあります。

そのような逆風が吹き経済的メリットが大きく減じられたことにより一般の消費者の関心が減り太陽光発電そのものに魅力を感じられなくなってきたことによると考えられます。

そこで国内の今の先進的メーカーは単に太陽光発電の設備を売るだけでなく、「トータルシステムとしての発電蓄

電システムを開発する動きになってきました。つまり「電気」を売るだけの時代から「貯めて使う時代へ」というコンセプトで開発を進めています。

具体的には太陽光発電の電力と夜間の安価電力を合わせて、蓄電池に貯めて、それを昼間の必要な時に使用するにより「トータルでエネルギーコストを下げた」ということを一番に考えました。

ただ、それだけではなく阪神及び東北大地震の際にエアコンなどの電気がなく夜中に寒いつらい思いをされた方も多かったです。そのような時にも蓄電池に貯めた電力を使うことにより、インフラ復旧までの暖房やパソコンの緊急システムとして利用できる安心システムをアピールするようになりました。

日立コンシューマーマーケティング様では、太陽光発電の原点「地球環境に優しい」をテーマに屋上に設置する場合、太陽光パネルの周囲に緑化をプラスすることを提案されています。

長野大学での研究結果からも以前からパネルが発電中に温度が上昇し発電効率が落ちることが知られています。それだけでなく発熱で屋上周囲温度が上がれば階下の室内にも影響し、エアコンをフル活用する可能性も出てきます。こうなれば本末転倒

太陽光パネルと緑化を共存すると

緑化(植物)は、蒸散作用のおかげで周辺の温度を下げる効果があります。その為に、ソーラパネル単独よりも緑化を併設した方が、発電効率が3%~16%増加するといわれています。

お問い合わせをいただければ必ず必要に応じ詳細について係員がご説明にお伺ひいたします。

ご注文はHITACHIのお店に言っただければ結構です。

弊社もそのお手伝いができることを誇りにして薄層屋上緑化システム「VUS500」を販売させていただきます。

ご注文はHITACHIのお店に言っただければ結構です。

太陽光発電と緑化

というわけではありません。

そこで、比較的省メンテナンスで長期に緑化を維持することのできる当社のセダム緑化パネルを太陽光周りに配置し、周囲からの美観に配慮すると同時に植物の蒸散作用を利用した冷却効果で発電をより効率的に行うことや建物への直射日光からの熱エネルギーを遮断することにより「トータルでエネルギーコスト削減・安心安全・地球環境への貢献」を目指しております。

スカイレジン<下地調整材>
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材の下地調整材に最適です！

BIG SUN
<土木用防水材>

ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラビタルE-S
<遠征型軽量プレミックスモルタル>

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ヶ峰シリーズ
節電できる壁面緑化を実現！